

# 赤十字かごしま

4月号  
Vol.193



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

赤十字基本原則：人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

□発行所：日本赤十字社鹿児島県支部 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1番5号 TEL099(252)0600 [平成25年4月発行]



人間を救うのは、人間だ。

## 5月は赤十字社員増強運動月間です。

日本赤十字社では、赤十字が誕生した5月を「赤十字社員増強運動月間」として、赤十字運動に参加し支えていただく社員の募集と赤十字事業に必要な活動資金へのご協力を広く呼びかけています。

この資金をもとに、国内外で地震・台風などの自然災害、戦争や紛争で苦しむ人々に救援の手を差し伸べています。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

**赤十字の活動を資金で支える「社員」にご加入をお願いいたします。**

### 社員とは？

赤十字の人道的活動に賛同し、毎年500円以上の活動資金（社資）にご協力いただける個人・法人の方のことです。

お寄せいただいた大切な社資は、「いのちと健康、尊厳を守る」ため、さまざまな赤十字活動に使われています。



**4,700**  
セット

<災害救護活動>  
**被災した方を救うために**

自然災害や大事故などが発生した場合、被災地にいち早く医療救護班を派遣するとともに、ストレスの軽減などこころのケア活動も行います。



また、平時から災害に備えるため、県下に約4,700枚の毛布や緊急セットなどの災害救援物資を備蓄し、風水害や火事などの被災者にお届けしています。

平成24年度は、奄美地方を襲った台風15～17号の被災者等に災害救援物資をお届けしました。



**188**  
の国と地域

<国際活動>  
**世界で紛争や災害で苦しんでいる人を救うために**

世界188カ国の国際赤十字の一員として災害や紛争で被害を受けた人々の救援活動や、医療・保健・衛生分野で知識の普及、生活環境の改善などの支援を行っています。



**皆さまから寄せられた事業資金は  
このように使われています。**

災害救護活動のために  
26,973,000円

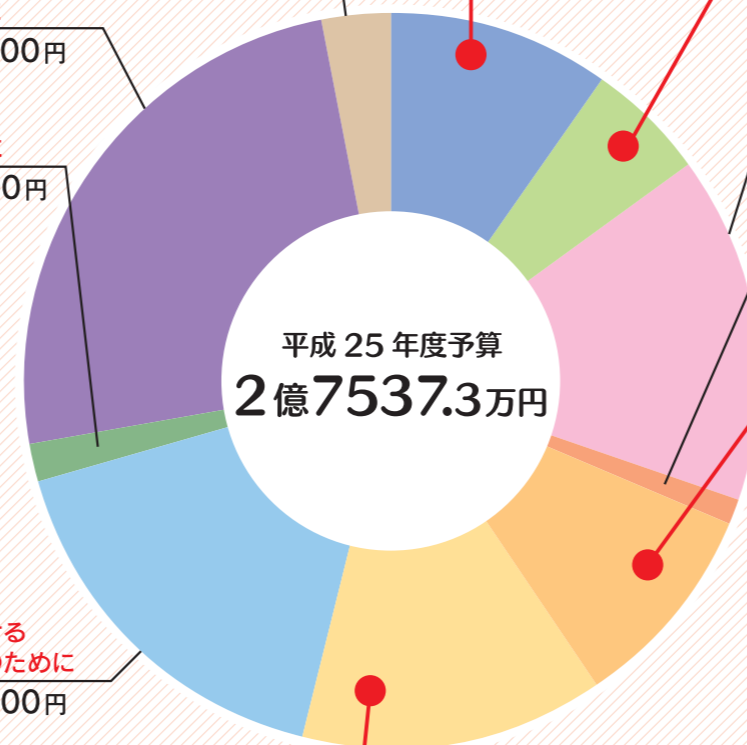
将来の災害と設備整備等のために  
8,272,000円

赤十字活動の運営と推進のために  
67,566,000円

救護看護師養成のために  
4,588,000円

市町村における赤十字活動のために  
45,850,000円

国際活動のために  
37,403,000円



(注)この外、平成25年度は老朽化に伴う施設の改築のために、医療事業と社会福祉事業に対し、積立資金から繰り入れて合計3億円を支出します。

**17,344**  
人

<講習普及事業>  
**人間のいのちと健康を守るために**

AEDの使い方や心肺蘇生などを学ぶ「救急法」、水の事故から身を守るための「水上安全法」、高齢者の支援に役立つ介護技術を学ぶ「健康生活支援講習」、子どもの事故防止と手当、病気への対応を学ぶ「幼児安全法」を行っています。

平成24年度は、これまで県内で17,344名の方が受講しました。(H24.4.1～H25.2.28)



<赤十字ボランティア>  
**社会貢献をするために**

**28,035**  
人

赤十字の活動は、ボランティアの方々に支えられています。

地域に根付いて活動する「地域赤十字奉仕団」や、専門技術や特技を生かした「特殊赤十字奉仕団」などがあり、県内では75団、28,035名の方が様々なボランティア活動を行っています。



**463**  
校

<青少年赤十字(JRC: Junior Red Cross)>  
**「命の大切さ」を学び、「思いやりの心」を育むために**

県内の幼稚園・保育園・小中高、特別支援学校あわせて463校の加盟校(園)で、子どもたちが「気づき・考え・実行する」を態度目標として地域でのボランティア活動や、海外の青少年赤十字メンバーとの国際交流などを行っています。







鹿児島県赤十字  
血液センター

## 「いのちをつなぐ献血へのご協力、 ありがとうございました」

鹿児島県では、平成24年度の採血目標を69,700人と掲げており、平成25年2月現在、64,822人の方に献血にご協力頂きました。皆さまの善意による献血で、多くの尊い命を救うことができました。ありがとうございました。人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることもできません。さらに血液は生きた細胞で、長期間にわたって保存することもできません。だからこそ、輸血に必要な血液をいつでも十分に確保しておくためには、絶えず皆さま方の献血が必要です。

本県では、急速な少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、特に10代～20代の若年層の献血者が激減しています。平成24年4月から8月までの期間、県内で必要な血液を県民の献血で賄う「自給自足」ができていない状況が見られました。9月以降は、皆さまの多くのご協力により、どうか自給自足できておりますが、今後は更に厳しい状況が続くと予想されます。輸血を必要とされている患者さんのため、皆さまの継続的な献血へのご協力をお願いいたします。

### 施設の案内



#### 「献血プラザかもいけクロス」

受付時間：9：00～12：00

13：00～17：00

受付日：月曜日～土曜日（日・祝日休み）

駐車場：大型立体駐車場あり（142台収容）



#### 「献血ルーム天文館」

受付時間：9：30～13：00（成分献血12：30）

14：00～17：30（成分献血17：00）

受付日：毎日（12月31日・1月1日を除く）

駐車場：中央公園近セラ602（駐車券配布）

リバティ立体駐車場（駐車券配布）

## 立体駐車場が完成しました！

鹿児島県赤十字血液センターにおいては、近年、献血にご協力いただく方をはじめ、2階の「ホリスティックヘルスプラザかごしま」の各種健康・利他講座の受講者等が増加してきており、駐車場の不足が生じていました。このことから、当血液センターを利用する方々の利便性をより一層向上させるため、平成24年10月より、立体駐車場の拡充工事を行っていましたが、平成25年2月に、ついに完成しました。3階建て4層、142台収容可能な立体駐車場です！

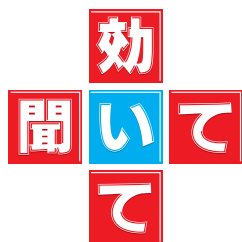
皆さまの献血への更なるご協力を、よろしくお願いいたします。



鹿児島赤十字病院

**関節超音波検査とは**

検査部 臨床検査課長 **町 邦彦**



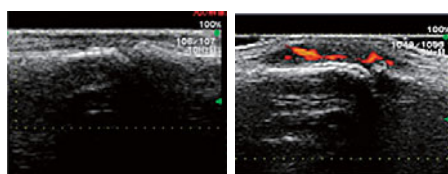
VOL.58

関節超音波検査をご存知でしょうか？まだ聞きなれない検査かもしれませんが、近年、関節リウマチの分野でとても重要視され始めた検査です。では関節超音波検査とは何を検査しているのでしょうか？

関節と関節の間には滑膜というものが存在します。この関節滑膜の炎症を早期に発見できるのが関節超音波検査で、最近では、テレビの健康番組などでもクローズアップされている検査です。

ここで少し超音波についてお話します。超音波とは人の耳に聞こえない高い周波数の音です。体に当たった探触子から超音波を発信すると組織の境界で反射し、エコーとして戻ってきた信号を処理し、映像化して体の中を観察することができます。またドップラー効果を利用して血液の流れを調べることもできます。超音波は人体に害がなく、痛みもないため繰り返し検査が可能です。

右の写真は当院で実際検査を行った時のものです。①は、滑膜炎のない正常な関節です。②は、滑膜炎のある関節です。左と比べると滑膜が肥厚し、その中に赤い血流が観察できます。これが、滑膜炎がある時の関節です。このような関節を関節超音波検査で早期に発見して診断・治療のお役にたてるよう日々頑張っています。



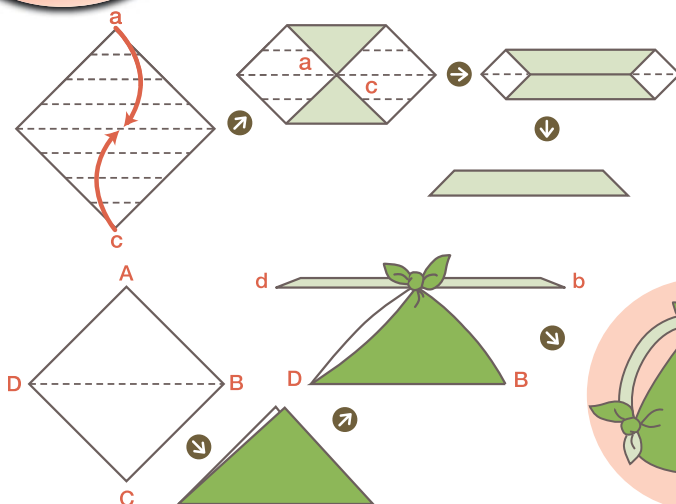
①正常な関節

②滑膜炎のある関節

**知って役立つ技術**

**災害時に役立つ道具作り②**

**2枚の風呂敷を使ったリュックサック**



〈ひもを作る〉

- ① c を中央に2分の1に折る。
- ② a も同様に折る。
- ③ c 側をさらに2分の1折り、a 側も同様に折る。
- ④ a と c を重ね、8分の1にする。

〈袋を作る〉

- ⑤ A と C を一回結ぶ。
- ⑥ ひもの中心を結び目の上に置き、A と C を本結び(真結び)する。
- ⑦ ひもの b と袋の B を本結び(真結び)し、d と袋の D も本結び(真結び)にする。

★しっかり荷物を入れるのなら木綿の90cm幅、おしゃれっぽくするなら、レーヨンちりめんの68cm幅の風呂敷を使用します。



特別養護老人ホーム  
錦江園

## 仮設建物でのユニットケアへの移行

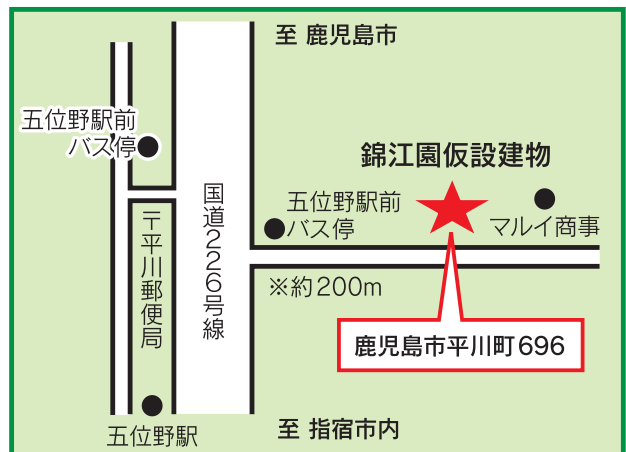
錦江園は、昭和49年6月に開設された日本赤十字社最初の特別養護老人ホームです。開設以来39年が経過し、建物・設備の老朽化が著しいことから現在全面的な建て替えを行っております。

建て替えにともない、平成24年11月より仮設建物へ入居移転を行いました。仮設建物では、ユニット型施設へのスムーズな移行のために居住区域を二つに分けてケアを行い、また研修等を通じて職員の意識改革にも努め、ご利用者ひとりひとりと向き合う介護への取り組みを行っております。

一年後には新しい建物でよりよいケアができるよう職員一同頑張っていきたいと思っております。

～ユニットケアとは～

- ご利用者を10人程度のユニット（単位）に分けて、その単位ごとに介護を行う方式
- 完全個室となることから、ご家族の面会がしやすくなり、また地域との関わりもユニットという少人数のまとまりで行われることから、馴染みの関係が形成されやすい
- 自分の部屋（個室）と共有スペースが区別されていることにより、プライバシーが多く確保されるためご利用者のストレス軽減につながる（認知症高齢者の徘徊などが少なくなる例もある）
- 10人程度のご利用者の援助のため、職員もご利用者個々人の生活リズムの把握が容易にできる事から、それぞれの行動パターンに即した援助が可能となり、個別ニーズにも対応しやすい



### 平成24年鹿児島県奄美地方台風災害義援金 集計結果報告

鹿児島県支部受付分 357件 1,468万5,348円

(平成25年2月18日現在)

ご協力ありがとうございました。なお、皆さまからお寄せいただいた義援金については、鹿児島県が設置する義援金配分委員会を通じて、被災者の方々へお届けします。

 日本赤十字社 鹿児島県支部  
Japanese Red Cross Society

 099 (252) 0600

URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp/> E-mail : [shibu-rc@po.minc.ne.jp](mailto:shibu-rc@po.minc.ne.jp)

日赤鹿児島県支部

検索